



東海市地域強靱化計画

令和6年度（2024年度）の進捗状況



東海市

令和8年（2026年）1月

〈目次〉

1	計画の趣旨	1
2	計画推進の進捗管理	2
3	リスクシナリオごとの進捗状況	3
4	「東海市地域強靱化アクションプラン」の進捗状況	14
4	「東海市地域強靱化アクションプラン」の進捗状況の考察	15

1. 計画の概要

平成25年（2013年）12月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（以下、「基本法」という。）」が公布・施行され、平成26年（2014年）には基本法に基づき、国土強靱化に関する国のほかの計画等の指針となる「国土強靱化基本計画（以下、「基本計画」という。）」が策定された。

県においても、南海トラフ地震をはじめとする大規模な自然災害から人命・財産と県民生活及び地域産業を守るとともに、社会経済活動の確実な維持等を図ることを目的として、平成28年（2016年）3月に「愛知県地域強靱化計画（以下、「県地域計画」という。）」が策定され、令和2年（2020年）3月に改訂されている。

そこで、本市においても、「基本計画」や「県地域計画」との調和を図りながら、国や県内市町村等関係者相互連携のもと、大規模な自然災害が起こった際に、機能不全に陥ることなく、いつまでも元気であり続ける「強靱な地域」をつくりあげるため、強靱化に関する指針となる「東海市地域強靱化計画」を令和元年（2019年）12月に策定し、令和3年（2021年）3月に改定した。

本計画は、「基本法」の一部が令和5年（2023年）6月に改正されたのを受けて、南海トラフを震源とする巨大地震や豪雨等の大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施するための「東海市地域強靱化計画」を令和7年（2025年）3月に改定した。

2. 計画推進の進捗管理

本市の強靱化を進めるためには、本計画に基づく施策を着実に推進していくことが重要である。

そこで、短期的・中期的に取り組む具体的な施策内容や進捗状況を把握するための指標を示した「東海市地域強靱化アクションプラン」を策定し、毎年度、各施策の進捗管理を行うものとする。

(1) 施策ごとの不断の点検・改善（PDCAサイクルの実施）

本計画に位置付ける各施策の進捗状況を踏まえ、各所管課が中心となり、施策の見直しや改善等を行いながら事業を推進する。

このことから、本書において令和6年度（2024年度）の進捗状況をまとめたもの。

(2) 施策ごとの進捗状況の評価

令和6年度（2024年度）の進捗状況の評価は、令和5年度（2023年度）の現状値を基準値として比較評価するものとした。

3. リスクシナリオごとの進捗状況

本計画では、本市の地域特性等を踏まえ、6つの「事前に備えるべき目標」と31の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」を設定している。重要業績指標（KPI）抜粋の令和6年度（2024年度）現状値及び成果動向は次のとおりとなっている。

目標1 あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ

リスクシナリオ

1-1 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生

重要業績指標（KPI）	R6 現状値	成果動向
◆住宅の耐震化率 [R5 現状値：89.5%、R10 目標値：95%、R15 目標値：概ね解消]（※現状値 R2 算出 次回 R7 算出）	89.5%	→
◆無電柱化推進計画整備延長 [R5 現状値：L=0.0km、R10 目標値：L=1.2km、R15 目標値：L=2.7km]	L=0.0km	→

リスクシナリオ

1-2 地震に伴う密集市街地等の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生

重要業績指標（KPI）	R6 現状値	成果動向
◆市内・市外へ円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合 [R5 現状値：69.1%、R10 目標値：73.4%、R15 目標値：78.2%]	70.9%	↗
◆防火水槽の耐震化率 [R5 現状値：43.9%、R10 目標値：46%、R15 目標値：48%]	43.9%	→

リスクシナリオ

1-3 広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆津波ハザードマップの作成 [R5 現状値：適宜更新、R10 目標値：適宜更新、R15 目標値：適宜更新]	適宜 見直し	→
◆雨水ポンプ場耐震化率（名和前②、浅山、加家、天宝、元浜②、伏見） [R5 現状値：63%、R10 目標値：88%、R15 目標値：88%]	63%	→

リスクシナリオ

1-4 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な浸水による多数の死傷者の発生
（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆浸水ハザードマップの作成率（洪水・内水・高潮） [R5 現状値：66%、R10 目標値：100%、R15 目標値：適宜更新]	66%	→
◆100mm 安心プランに位置付ける雨水幹線・枝線整備率 [R5 現状値：2%、R10 目標値：30%、R15 目標値：88%]	2%	→

リスクシナリオ

1-5 大規模な土砂災害（土砂・洪水氾濫など）等による多数の死傷者の発生

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆土砂災害対応訓練の実施回数 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：1回/年、R15 目標値：1回/年]	1回/年	↗
◆大規模盛土変動予測調査に基づく安全確認した箇所割合 [R5 現状値：100%、R10 目標値：100%、R15 目標値：100%]	100%	↗

目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

リスクシナリオ

2-1 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆市民総合防災訓練の実施回数 [R5 現状値：1 回/年、R10 目標値：1 回/年、R15 目標値：1 回/年]	1 回/年	↗
◆大規模地震防災活動拠点数 [R5 現状値：8 箇所、R10 目標値：9 箇所、R15 目標値：10 箇所]	8 箇所	→

リスクシナリオ

2-2 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆燃料供給事業者との協定締結数 [R5 現状値：0 件、R10 目標値：1 件、R15 目標値：1 件]	0 件	→
◆市民総合防災訓練（医療救護活動）への参加者数 [R5 現状値：57 人、R10 目標値：63 人、R15 目標値：70 人]	65 人	↗

リスクシナリオ

2-3 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆備蓄計画の策定 [R5 現状値：更新、R10 目標値：更新、R15 目標値：更新]	更新	↗
◆小中学校屋内運動場空調機整備率 [R5 現状値：22%、R10 目標値：100%、R15 目標値：100%]	33%	↗

リスクシナリオ

2-4 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆物資調達等訓練の実施回数 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：1回/年、R15 目標値：1回/年]	1回/年	↗
◆災害協定締結数 [R5 現状値：166件、R10 目標値：171件、R15 目標値：176件]	167件	↗

リスクシナリオ

2-5 想定を超える大量の帰宅困難者の発生による混乱

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆帰宅困難者等受入施設の検討 [R5 現状値：施設の整備、R10 目標値：必要物資等の充実、R15 目標値：－]	必要物資等の充実	↗
◆帰宅困難者誘導訓練等の確認 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：1回/年、R15 目標値：1回/年]	1回/年	↗

リスクシナリオ

2-6 大規模な自然災害と感染症との同時発生

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	成果動向
◆感染症対策を踏まえた避難所運営訓練の実施割合 (12 コミュニティ) [R5 現状値：83%、R10 目標値：92%、R15 目標値：100%]	67%	↘
◆災害支援看護職活動員登録者数 [R5 現状値：65人、R10 目標値：70人、R15 目標値：75人]	63人	↘

目標 3 必要不可欠な行政機能を確保する

リスクシナリオ

3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆防災リーダー養成講座修了者数</p> <p>[R5 現状値：298 人、R10 目標値：373 人、R15 目標値：448 人]</p>	313 人	↗
<p>◆コミュニティを中心とした地域運営体制の整備</p> <p>[R5 現状値：1 コミュニティ、R10 目標値：2 コミュニティ、R15 目標値：2 コミュニティ]</p>	1 コミュニティ	→

リスクシナリオ

3-2 地方行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆受援計画の策定</p> <p>[R5 現状値：未策定（策定中）、R10 目標値：策定完了、R15 目標値：受援計画に基づく物流訓練の実施 1 回/年]</p>	未策定 (策定中)	→
<p>◆情報システムのクラウド化、ネットワークの冗長化、サーバの負荷分散、データの遠隔地保管を実施</p> <p>[R5 現状値：実施済み、R10 目標値：継続実施、R15 目標値：継続実施]</p>	継続実施	↗

目標 4 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ

4-1 サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下による国際競争力の低下

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆民間企業が実施する防災講演会への講師派遣回数 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：4回/年、R15 目標値：6回/年]	2回/年	↗

リスクシナリオ

4-2 コンビナート・高圧ガス施設等の重要な産業施設の火災、爆発に伴う有害物質等の大規模拡散・流出

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆臨海企業意見交換会の実施回数 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：1回/年、R15 目標値：1回/年]	1回/年	↗

リスクシナリオ

4-3 金融サービス等の機能停止による市民生活・商取引等への甚大な影響

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆民間企業が実施する防災講演会への講師派遣回数 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：4回/年、R15 目標値：6回/年]	2回/年	↗

リスクシナリオ

4-4 食料等の安定供給の停滞に伴う、市民生活・社会経済活動への甚大な影響

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆災害協定締結数 [R5 現状値：166件、R10 目標値：171件、R15 目標値：176件]	167件	↗

リスクシナリオ

4-5 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆耐水位計設備の更新 (3 機場は、設備設置済)</p> <p>[R5 現状値: 点検 1 回/年、R10 目標値: 点検 1 回/年、R15 目標値: 点検 1 回/年]</p>	<p>点検 1 回/年</p>	

リスクシナリオ

4-6 農地・森林や生態系等の被害に伴う荒廃・多面的機能の低下

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆緑陽公園整備面積</p> <p>[R5 現状値:1.2ha、R10 目標値:14.2ha、R15 目標値:14.2ha]</p>	<p>1.2ha</p>	

目標 5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる

リスクシナリオ

5-1 テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラの障害により、インターネット・SNSなど、災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆災害情報の入手方法として知っている項目数 [R5 現状値：2.1 項目、R10 目標値：2.5 項目、R15 目標値：3.0 項目]	2.2 項目	↗
◆防災情報の発信手段 [R5 現状値：9 項目、R10 目標値：10 項目、R15 目標値：11 項目]	9 項目	→

リスクシナリオ

5-2 電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）の長期間・大規模にわたる機能の停止

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆災害時ホットラインの構築 [R5 現状値：更新、R10 目標値：更新、R15 目標値：更新]	更新	↗

リスクシナリオ

5-3 都市ガス供給・石油・LPガス等の燃料供給施設等の長期間にわたる機能の停止

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆燃料供給事業者との協定締結数 [R5 現状値：0 件、R10 目標値：1 件、R15 目標値：1 件]	0 件	→

リスクシナリオ

5-4 上下水道施設の長期間にわたる機能停止

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆耐震適合性がある管の割合 (重要給水施設配水管路) [R5 現状値 : 60%、R10 目標値 : 80%、R15 目標値 : 100%]	60.6%	↗
◆東海市浄化センター耐震化率 [R5 現状値 : 88%、R10 目標値 : 88%、R15 目標値 : 88%]	88%	→

リスクシナリオ

5-5 基幹的陸上海上航空交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆都市計画道路の整備率 [R5 現状値 : 88.4%、R10 目標値 : 90.7%、R15 目標値 : 92.9%]	88.7%	↗
◆耐震補強した橋りょうの割合 [R5 現状値 : 44.9%、R10 目標値 : 49.0%、R15 目標値 : 53.1%]	46.9%	↗

目標 6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ

6-1 自然災害後の地域のより良い復興に向けた事前復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れ地域が衰退する事態

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆庁舎の耐震化の整備</p> <p>[R5 現状値：Is 値 0.68、R10 目標値：高層棟 Is 値 0.9 以上、R15 目標値：高層棟 Is 値 0.9 以上]</p>	Is 値 0.68	→

リスクシナリオ

6-2 災害対応・復旧復興を支える人材等（専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等）の不足等により復興できなくなる事態

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆防災リーダー養成講座の修了者数</p> <p>[R5 現状値：298 人、R10 目標値：373 人、R15 目標値：448 人]</p>	313 人	↗

リスクシナリオ

6-3 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
<p>◆廃棄物処理計画の改定</p> <p>[R5 現状値：更新、R10 目標値：適宜見直し・改定、R15 目標値：適宜見直し・改定]</p>	更新	↗

リスクシナリオ

6-4 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆オープンスペース候補地リストの作成 [R5 現状値：更新、R10 目標値：更新、R15 目標値：更新]	更新	↗

リスクシナリオ
6-5 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆住んでいる地域が協働で地域課題の解決に取り組んでいると思う人の割合 [R5 現状値：40.5%、R10 目標値：41.0%、R15 目標値：46.6%]	38.6%	↘

リスクシナリオ
6-6 国際的風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による国家経済等への甚大な影響

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆民間企業が実施する防災講演会への講師派遣回数 [R5 現状値：1回/年、R10 目標値：4回/年、R15 目標値：6回/年]	2回/年	↗

リスクシナリオ
6-7 被災者の住居確保等の遅延による生活再建の遅れ

重要業績指標 (KPI)	R6 現状値	進捗状況
◆応急仮設住宅用地確保戸数 [R5 現状値：754戸、R10 目標値：863戸、R15 目標値：863戸]	779戸	↗

4. 「東海市地域強靱化アクションプラン」の進捗状況

強靱化計画における「事前に備えるべき目標」及び「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」ごとに施策（アクション）を整理し、掲載する。施策（アクション）は、強靱化計画における推進方針を実現するために実施する具体的な取り組みを示すものであり、概要を示すとともに、進捗状況を把握するために指標とその現状値・目標値を示している。

「東海市地域強靱化アクションプラン」で設定された336の指標（重複する指標を含む。）について、基準値である令和5年度（2023年度）と令和6年度（2024年度）の現状値を比較評価したものの。

指標ごとの動向は次のとおりとなっている。

進捗状況	指標の変化			
			【参考】	
	令和6年度（2024年度）		令和5年度（2023年度）	
順調	168指標	50%	272指標	64%
横ばい	142指標	43%	109指標	26%
順調でない	26指標	7%	44指標	10%
計	336指標	100%	425指標	100%

数値が順調な指標は、168指標で全体の50%、数値が横ばいの指標は、142指標で全体の43%、数値が順調でない指標は、26指標で全体の7%となっている。（重複する指標を含む。）

また、継続実施の指標を除き、令和10年度（2023年度）目標値に対しては、「家具転倒防止対策事業補助金の利用件数」はじめ8指標（重複する指標を含む。）が目標値を達成した。

5. 「東海市地域強靱化アクションプラン」進捗状況の考察

「東海市地域強靱化アクションプラン」で設定された336の指標（重複する指標を含む。）について、基準値である令和5年度（2023年度）と令和6年度（2024年度）の現状値を比較評価したもののうち主なものについて考察する。

リスクシナリオ2-3「劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生」の、140「避難所における生活環境の確保」に係る「小中学校屋内運動場空調機整備率」の指標は、全中学校の空調機整備が完了したことから、基準値に対して、11ポイント増加し、事前に備えるべき目標である「災害関連死を防ぐこと」に寄与できていると考える。

リスクシナリオ2-4「被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止」の、179「物資・エネルギー供給体制の整備」に係る「災害協定締結数」の指標は、一般社団法人東海ドローン協会との災害時等における無人航空機の運用に関する協定の締結により、基準値に対して、1件増加し、災害時に市内の状況把握を迅速に行える体制を整備できていると評価した。

リスクシナリオ5-1「テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラの障害により、インターネット・SNSなど、災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態」の、242「情報発信体制強化・手段の多重化」に係る「防災情報の発信手段」の指標は、東海市公式LINE等、ここ数年で情報伝達手段の多様化に関する整備を進められたため、基準値に対して、0.1項目増加し、情報収集手段の確保について、地域住民の意識を向上させ、災害情報の迅速な収集への備えができていると評価した。

その一方で、リスクシナリオ2-6「大規模な自然災害と感染症との同時発生」の、193「避難所の衛生環境の確保」に係る「感染症対策を踏まえた避難所運営訓練の実施割合（12コミュニティ）」の指標が、近年、本市において災害が少ないことによる防災への関心が低下していることと考えられ、基準値に対して、16ポイント減少したことにより、「順調でない」と評価した。しかし、令和6年（2024年）1月1日に発生した能登半島地震で課題となった「災害時のトイレ問題」についての訓練が徐々に増加してきており、感染症対策の訓練の実施とともに、引き続き訓練内容の充実に向けて努めていく。

全体を通して、昨年度計画を改定し新たな目標値を設定したところであり、目標値に達していない指標が多いが、順調に取り組めている事業も多くある。令和10年度（2028年度）の目標値に向けて、引き続き粘り強く事業に取り組む必要がある。